

## 事業名：広報えべつ発行事業

広報広聴課 主査（広報広聴）

政策	07 計画実現に向けて							
施策	03 開かれた行政づくり							
基本事業	02 広報の充実							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・世帯

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・ A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均28頁、毎月1日付、年12回発行。
- ・ 編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。
- ・ 配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、美容院等にも設置。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改革、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2	世帯数	世帯	53,923	54,581	54,921	54,921
活動指標1	月平均作成部数	部	46,121	46,690	47,332	46,700
活動指標2	広報配布箇所数	箇所	253	274	290	290
成果指標1	配布率	%	84.2	84.3	84.9	84.3
成果指標2	広報えべつを読んでいる市民の割合	%	88	84.8	89.5	84.3
事業費(A)		千円	10,215	11,755	11,858	13,614
正職員人件費(B)		千円	12,039	12,024	11,720	11,736
総事業費(A+B)		千円	22,254	23,779	23,578	25,350

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均28頁、毎月1日付、年12回発行。	広報印刷製本経費 10,440千円 拡大版広報印刷経費 113千円 広報記事作成委託経費 1,134千円 DTPシステム保守経費 102千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
配布については自治会による戸別配布を基本としているが、高齢化や自治会未加入者の増加等により全戸配布が困難となっており、今後も配布方法について継続的な検討を要する。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
市の施策、業務・事業内容及び市民生活等の周知、理解を図ることは市政の基本事項であり、市民と行政が共通の理解と認識を持つ手段として重要である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
広報を含め他の折り込み情報の配布部数を勘案すると市政全般に関する定期的な媒体としての貢献度は大きい。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
見易い誌面構成及び業務の最適化の観点からの業務委託、コンビニ、病院、理容院等への設置による配布部数の拡大などより多くの市民が閲覧できるよう努めている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容豊富な反面、ページ数が多く、今後とも文章の簡略化等による見易い、分かりやすい効率的な誌面構成を行う。</li> <li>・ 配布部数の拡大。</li> </ul>	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有料広告件数の増加による広告収入の増加。</li> <li>・ 職員皆が市の広報マンであるという意識の醸成を図るとともに、広報の対費用効果についての共通認識を深める。（掲載内容の選択）</li> </ul>	